

経済学部の授業科目の履修及び 単位認定に関する規程

(平成 28 年度以降入学者適用)

(平成 28 年 4 月 1 日制定)
平成 30 年 4 月 1 日最近改正

(目的)

第 1 条 この規程は、麗澤大学学則（以下「学則」という。）第 46 条の 3 の規定に基づき、経済学部の授業科目の履修及び単位認定について定めることを目的とする。

(教育課程の編成)

第 2 条 経済学部の教育課程は、次の各号に掲げる専攻ごとに編成する。

- (1) 経済専攻
- (2) 経営専攻
- (3) 会計ファイナンス専攻
- (4) グローバル人材育成専攻
- (5) スポーツビジネス専攻

2 学生は入学時に、前項に規定する専攻のうち 1 つを選択し、その専攻（以下「自専攻」という。）の教育課程に従って授業科目を履修する。

3 前項で選択した専攻は、入学後 2 年以内に限り、変更することができるものとする。この場合の手続き等については、麗澤大学転部・転科に関する規程を準用するものとする。

(授業科目の区分)

第 3 条 前条の各専攻に開設する授業科目は、専攻専門科目、共通科目、キャリア科目及び教科に関する科目に区分する。

2 前項の専攻専門科目をさらに基礎科目、基礎専門科目及び上級専門科目に区分し、基礎専門科目及び上級専門科目は A 群科目及び B 群科目に区分する。

3 第 1 項の共通科目をさらに道徳科目、教養科目及び日本語科目に区分する。

(科目名の表記と履修条件)

第 4 条 授業科目名に「・・・」等のローマ数字を含むものについては、数字の若い順に履修する（・・・の順で履修する）ことを原則とする（以下「順次履修」という。）。なお、この場合において、「」は「」に対して「下位の科目」、「」は「」に対して「上位の科目」とする。「・・・」についても同様の扱いとする。

2 順次履修において上位の科目を履修する場合は、下位の科目の単位を修得することが必要となる。ただし、学部が認める理由によって順次に履修できない場合は、下位の科目の単位を修得しなくても上位の科目の履修を許可する場合がある。

3 授業科目名に「A B C D・・・」等のアルファベットを含むものについては、原則としてアルファベットの順によらず、履修できるものとする。ただし、担当教員が授業内容の継続性や

【表 1】各専攻の修得必要単位数

科目区分		履修区分	経済		経営		会計ファイナンス		グローバル人材育成		スポーツビジネス	
			日本人	留学生	日本人	留学生	日本人	留学生	日本人	留学生	日本人	留学生
専攻 専門科目	基礎科目	必修	8	8	8	8	8	8	14	14	10	10
	基礎 専門科目	A群 選択	12	12	16	16	18	18	20	20	22	22
		B群 必修	30	30	30	30	30	30	30	30	36	36
	上級 専門科目	A群 選択	14	14	16	16	12	12	24	24	16	16
B群 必修		34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	
共通科目	道徳科目	必修	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	教養科目	選択 必修	22	14	22	14	22	14	22	14	22	14
	日本語科目	必修	-	10	-	10	-	10	-	10	-	10
キャリア科目		選択 必修	8	4	8	4	8	4	8	4	8	4
自由選択 科目	教科に関する科目	選択	14	16	14	16	14	16	8	10	6	8
修得単位数合計			124	124	124	124	124	124	124	124	124	124

関連性等を考慮して、個別に履修条件を設定する場合は、その指示に従わなければならない。

(必修、履修必修、選択必修、選択の定義)

第 5 条 第 6 条以降に規定する卒業に必要な単位に関する「履修区分」の定義は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 必修科目 卒業のために必ず単位修得しなければならない科目。単位が修得できるまで、定められた方法によって再履修しなければならない。
- (2) 履修必修科目 経済学部が履修することを必要と認め、履修が義務付けられる科目。単位修得できなかった場合、原則として再履修は認めない。
- (3) 選択必修科目 卒業に必要な単位数が定められた科目群に含まれる科目の中から、任意に選択することができる科目。
- (4) 選択科目 学生が任意に選択できる科目。

(修得必要単位数)

第 6 条 経済学部の卒業に必要な単位数は、【表 1】に示すとおり、各科目区分の修得必要単位数を充足した合計 124 単位とする。

2 前項【表 1】の自由選択科目は、次の各号に掲げる単位をもって充足する。ただし、第 17 条に規定する教職に関する科目を含めることはできない。

- (1) 経済学部開設科目のうち、専攻専門科目、共通科目及びキャリア科目の修得必要単位数を超えて修得した単位
- (2) 経済学部開設科目のうち、教科に関する科目の修得した単位
- (3) 他学部開設科目から修得した単位
- (4) 本学大学院開設科目から修得した単位

3 3 年以上在学した者が、第 1 項に規定する卒業に必要な単位を優秀な成績ですべて修得し、本学大学院経済研究科への進学を希望する場合は、早期卒業を認めることがある。

4 早期卒業に関する必要事項は、別に定める。

(専攻専門科目の履修方法)

第 7 条 各専攻の専攻専門科目は、【別表 1】に示す基礎科目、基礎専門科目及び上級専門科目を次の各号に定めるとおりに履修し、各科目区分の必要単位数を修得すること。

- (1) 基礎科目の「基礎ゼミナール A・B」は、それぞれ指定されたクラスで履修するものとする。
- (2) 基礎専門科目の「基礎数学」、「統計学 A・B」、「経済学基礎」、「簿記原理」、「経済学基礎演習 A・B」、「経営学基礎演習 A・B」、「会計ファイナンス基礎演習 A・B」及び「国際社会演習 A・B」は、それぞれ指定されたクラスで履修するものとする。
- (3) 上級専門科目の「ゼミナール・・・」は、同一担当者の下で順次に履修しなければならない。ただし、海外留学など学部が認める特別な理由がある場合は、この限りではない。

- (共通科目の履修方法)
- 第8条 共通科目は、【別表2】に示す道徳科目、教養科目及び日本語科目を次の各号に定めるとおりに履修し、各科目区分の必要単位数を修得すること。
- (1) 道徳科目の「道徳科学A・B」は、それぞれ指定されたクラスで履修するものとする。
 - (2) 教養科目の「英語コミュニケーションスキルA・B・C・D・E・F・G・H」、「情報リテラシー」及び「情報科学」は、それぞれ指定されたクラスで履修するものとする。
 - (3) 日本語科目は、日本語の学力判定の結果に基づき指定された外国人留学生及び帰国子女学生が履修し、10単位以上修得しなくてはならない。なお、日本語の履修方法については、別に定める。
- 2 教養科目の「基礎ゼミナールC」は、入学時の導入授業として編入学生を除く新入生全員が指定されたクラスで履修する。なお、「基礎ゼミナールC」は入学時のみの履修とし、単位修得ができなかった場合の再履修は認めない。
- 3 スポーツ実習Sの履修については、次の各号に定めるとおりにする。
- (1) 毎学期1クラスを履修可能とし、通算して8単位まで修得することができる。
 - (2) 単位修得した場合、科目名末尾に単位修得した回数を表示するアルファベットを付記する。(1回目：スポーツ実習SA、2回目：スポーツ実習SB、以後同様)。
- (キャリア科目の履修方法)
- 第9条 キャリア形成科目は、【別表3】に示す開設科目の中から選択履修し、8単位以上修得すること。
- (教科に関する科目の履修方法)
- 第10条 教科に関する科目は、【別表4】に示す開設科目の中から選択履修し、修得した単位を卒業に必要な単位数に含めることができる。
- (3年次配当科目の履修要件)
- 第11条 3年次配当科目の履修に当たっては、2年次終了までに、次の各号に掲げる条件をすべて満たし、かつ合計40単位以上を修得していなければならない。
- (1) 基礎科目から6単位以上
 - (2) 基礎専門科目から16単位以上
 - (3) 共通科目(道徳科目)から4単位以上
 - (4) 共通科目(教養科目)から10単位以上
- 2 前項の定めにかかわらず第8条の日本語科目の履修を指示された学生については、前項第4号の条件は指定された日本語科目10単位以上とする。
- 3 2年次で海外提携大学に留学する場合の履修要件は、別に定める。
- (中国MCコース)
- 第12条 相当の中国語力を持つ学生のために、中国語を主要言語とした専門科目及び特別な外国語科目を履修させる中国MCコース(中国MC: Management & Communication)を置く。
- 2 前項の中国MCコースを履修できる者は、別に定める選抜方法により決定する。
- 3 前項により選抜された者は、別に定める履修方法により第6条に定める必要単位数を修得する。
- (税理士コース)
- 第13条 税理士を志望する学生に専門科目を履修させる「税理士コース」を置く。
- 2 前項の税理士コースを履修できる者は、別に定める選抜方法により決定する。
- 3 前項により選抜された者は、別に定める履修方法により第6条に定める必要単位数を修得する。
- (公務員コース)
- 第14条 公務員を志望する学生に専門科目を履修させる「公務員コース」を置く。
- 2 前項のコースを履修する者は、別に定める履修方法により第6条に定める必要単位数を修得する。
- (スポーツマネジメントコース)
- 第15条 スポーツビジネスを志望する学生に資格教育等の共通科目を履修させる「スポーツマネジメントコース」を置く。
- 2 前項のスポーツマネジメントコースを履修できる者は、別に定める選抜方法により決定する。
- 3 前項により選抜された者は、別に定める履修方法により第6条に定める必要単位数を修得する。
- (道経一体コース)
- 第16条 経済及び道徳の深い学びを志す学生に道経一体に関連した共通科目及び上級専門科目を履修させる「道経一体コース」を置く。
- 2 前項の道経一体コースを履修できる者は、別に定める選抜方法により決定する。
- 3 前項により選抜された者は、別に定める履修方法により第6条に定める必要単位数を修得する。
- (教職に関する科目の履修方法)
- 第17条 教職に関する科目の履修方法は、「学部教職に関する科目の履修規程」に従うものとする。
- (検定試験等による単位認定)
- 第18条 専攻専門科目の基礎専門科目、共通科目及び日本語科目については、学則第49条の2(大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が定める学修)に相当する語学検定等の学修の成果により、【別表5】に基づき単位を認定する。ただし、日商簿記3級及び2級を除き、この学修は、申請日から起算して2年以内に修得したものに限る。
- 2 前項の認定を受けようとする者は、「単位認定申請書」に「当該学修の成績証明書等」を添付して所定の期日までに教務グループに提出するものとする。
- 3 一度単位認定を受けた場合の2回目以降の認定単位数は、成績表に基づく認定単位数からすでに認定を受けた単位数を差し引いた単位数とする。
- (履修科目の登録・予備登録・履修者数の調整)
- 第19条 授業科目の履修にあたっては、定められた期日までに履修登録をしなければならない。
- 2 履修登録科目の取消しは、定められた期間に行わなければならない。ただし、通年科目については、第2学期での取消しは認めない。
- 3 履修科目の授業時間が重なっている科目の重複登録は原則として認めない。
- 4 既に単位を修得した科目の履修登録は認めない。
- 5 一部の授業科目については、履修登録期間以前に予備登録を求め、かつ授業を行う上での適正規模を維持するために、履修者数の調整を行うことがある。
- (履修登録の上限)
- 第20条 学生が毎学期登録できる履修科目の合計単位数は、24単位を限度とする。
- 2 前項の定めには次の各号に掲げる単位は含めないものとする。
- (1) 教職に関する科目
 - (2) 第18条第1項に定める検定試験等による認定科目
 - (3) 千葉県単位互換制度による履修科目
 - (4) 「社会科学分析入門」
 - (5) 短期海外研修による認定科目
 - (6) 海外留学提携校への留学で修得した単位互換科目
 - (7) 集中講義科目
- 3 第1項の定めにかかわらず、卒業年次あるいは特別な事情がある場合は、限度単位数を超えて履修登録できる。
- (履修許可を必要とする授業科目)
- 第21条 「自主プロジェクト」を履修する場合は、あらかじめ教授会の許可を得なければならない。
- 2 「スポーツ実習S」の履修について同一種目を選択する場合は、あらかじめ担当教員の許可を得なければならない。
- (履修年次の例外)
- 第22条 一部の授業科目については、教育効果を高めるため、【別表1～別表4】で定めた配当年次よりも前の年次で履修させることがある。
- 2 前項の履修方法及び対象科目は、別に定める。
- (単位認定の時期)
- 第23条 単位の認定は学期ごとに行うことを原則とする。ただし、2学期にわたる授業科目の単位認定は、その科目の終了する学期末に行う。
- (成績評価)
- 第24条 成績評価のS・A・B・C・D・Eの表記は、【表2】に基づくものとする。

【表2】

評価	S	A	B	C	D	E
取得点数	100～90	89～80	79～70	69～60	59～40	39～0

- 2 学則第 49 条及び第 50 条の規定に基づいて他大学等において履修した科目を認定したときは、前項の表記によらず、「T」(Transfer)表記とする。
- 3 学則第 49 条の 2 の規定に基づいて学修した科目を認定したときは、前項の表記によらず、「P」(Pass)表記とする。
(単位修得に必要な条件・公欠等)
- 第 25 条 各科目における単位修得の条件については、原則としてシラバスで定める。
- 2 単位を修得するには、原則として出席時数が授業時数の 3 分の 2 以上なければならない。但し、このことは、それ以上出席すれば自動的に単位が修得できることを意味するものではない。
- 3 次の各号に掲げる事由による授業の欠席は止むを得ないものとみなし、「公欠扱い」とする。この取扱いを希望する学生は、所定の用紙により担当教員に届け出なければならない。
- (1) 学生が学生代表として、大学が特に認める行事に参加するとき
- (2) 他団体等からの要請を受けて教授会にて「公欠扱い」と認定されたとき
- (3) 配偶者及び 2 親等以内の親族が死亡したとき(配偶者 10 日以内、父母(養父母を含む) 7 日以内、祖父母、兄弟姉妹 3 日以内)
- (4) 教育職員免許状取得のための教育実習及び介護等体験に参加するとき
- (5) 授業に伴うボランティア活動に参加するとき
- (6) 本学が認める進学、就職試験を受けるとき
- (7) 学校保健安全法に基づき出席停止となる感染症に罹患したとき
- (8) 裁判員候補者又は裁判員として裁判所の呼び出しに応じて出頭するとき
- (9) 消防団活動に参加するとき
- (10) その他本学が認めるとき
(追試験)
- 第 26 条 止むを得ない事由で単位認定に必要な試験を受けられない者のために、追試験を行うことがある。追試験を希望するときは、予めその理由を証明する文書を添付した「追試験願」を提出し、許可を受けなければならない。
- 2 追試験料は、1 科目につき 1,000 円とする。
- 3 前項の追試験料は、次の各号に掲げる理由の場合で、その事実を証明する書類を添付して願い出があった時は徴収しないものとする。
- (1) 公欠対象の法定伝染病...安静治療、隔離を要する旨を明記した診断書
- (2) 忌引(二親等以内)...会葬礼状等
- (3) 公共交通機関の遅延...当該交通機関の遅延証明書
(再試験)
- 第 27 条 卒業見込者(履修登録した科目の単位を修得することにより卒業必要単位を満たす可能性のある者)で、履修した一部の科目が単位不認定のため卒業必要単位数を充足できなかった学生に対し、「再試験」を行うことがある。再試験の対象となるためには、第 25 条に規定する出席時数を満たし、かつ第 24 条に規定する成績評価が「D」(59 点～40 点)でなければならない。再試験の実施要領は次の各号に定めるとおりとする。
- (1) 再試験は、2 科目を限度として学生の願い出に基づき実施する。
- (2) 再試験の対象科目は、当該年度に履修登録した科目とする。ただし、集中講義の科目及びゼミナール・・・は対象から除く。
- (3) 実施時期は、第 1 学期については 8 月下旬とし、第 2 学期については 2 月下旬とする。
- 2 再試験料は、1 科目につき 1,000 円とする。
(再試験による評価点)
- 第 28 条 再試験によって単位を認定する場合の評価点は、【表 6】に基づくものとする。

【表6】

取得点数	評価点	取得点数	評価点	取得点数	評価点	取得点数	評価点
100～96	69	95～92	68	91～88	67	87～84	66
83～80	65	79～76	64	75～72	63	71～68	62
67～64	61	63～60	60				

(編入及び転部・転科学生に関する履修の取り扱い)

- 第 29 条 編入及び転部・転科・転専攻学生に関する履修の取り扱いは別に定める。
(事務の所管)
- 第 30 条 この規程に関する事務は、大学事務局教務グループが所管する。
(規程の改廃)
- 第 31 条 この規程の改廃は、経済学部教授会及び協議会の議を経て、学長がこれを定める。

附 則

- 1 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日より改定施行する。
- 2 第 7 条に規定する経営専攻専門科目【別表 1 - 2】に以下の科目を新設する。

科目区分	授業科目名	単位	年次
基礎専門科目 B 群	日本経済史 A	2	2
	日本経済史 B	2	2
	データ解析	2	2
上級専門科目 B 群	経済史	2	3・4

- 3 第 7 条に規定するグローバル人材育成専攻専門科目【別表 1 - 4】のうち、以下の科目の科目区分を変更する。

授業科目名	変更事項	変更前	変更後
国際コミュニケーション B	科目区分	基礎専門科目 B 群	基礎専門科目 A 群
世界経済論	科目区分	基礎専門科目 B 群	基礎専門科目 A 群

- 4 第 7 条に規定する【別表 1 - 1】、【別表 1 - 4】のうち、以下の授業科目の名称を変更する。

別表	授業科目名	単位	配当年次	変更後
【別表 1 - 1】 【別表 1 - 4】	中国経済社会論 A	2	3	中国経済論 A
【別表 1 - 1】 【別表 1 - 4】	中国経済社会論 B	2	3	中国経済論 B
【別表 1 - 4】	中国経済社会論 C	2	4	中国経済論 C
【別表 1 - 4】	中国経済社会論 D	2	4	中国経済論 D

- 5 第 8 条に規定する共通科目【別表 2】のうち、以下の科目の必修区分を変更する。

授業科目名	変更事項	変更前	変更後
Business English C	必修区分	履修必修	選択必修
Business English D	必修区分	履修必修	選択必修

- 6 第 8 条に規定する共通科目【別表 2】に以下の科目を新設する。

科目区分	授業科目名	単位	年次
共通科目(教養)	自主企画ゼミナール	2	1

- 7 第 18 条に規定する【別表 5 - 1】に以下の認定科目を追加する。

学修の種類	認定単位数	認定科目
日商簿記検定 3 級	6	簿記原理 簿記原理 A 簿記原理 B 簿記実務演習(初級)
日商簿記検定 2 級	10	簿記原理 簿記原理 A 簿記原理 B 簿記実務演習(初級) 簿記実務演習(中級) A 簿記実務演習(中級) B

附 則

- 1 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日より改定施行する。
 2 第 7 条に規定する経済専攻専門科目【別表 1 - 1】に以下の科目を新設する。

科目区分	授業科目名	単位	配当年次
基礎専門科目 B 群	不動産実務演習 A	2	2
	不動産実務演習 B	2	2
上級専門科目 A 群	経済政策 A	2	3・4
	経済政策 B	2	3・4
	公共政策学	2	3・4
上級専門科目 B 群	コミュニティデザイン論	2	3・4
	公共経済学 A	2	3・4
	公共経済学 B	2	3・4

- 3 第 7 条に規定する経済専攻専門科目【別表 1 - 1】のうち、以下の科目の配当年次を変更する。

授業科目名	変更前	変更後
中国経済論 C	4	3
中国経済論 D	4	3

- 4 第 7 条に規定する経済専攻専門科目【別表 1 - 1】のうち、以下の科目の科目区分を変更する。

授業科目名	変更前	変更後
公共経済学 A	上級専門科目 A 群	上級専門科目 B 群
公共経済学 B		
経済政策 A	上級専門科目 B 群	上級専門科目 A 群
経済政策 B		

- 5 第 7 条に規定する経営専攻専門科目【別表 1 - 2】に以下の科目を新設する。

科目区分	授業科目名	単位	配当年次
基礎専門 科目 B 群	中国経済研究 A	2	2
	中国経済研究 B	2	2
	中国専門書講読 A	2	2
	中国専門書講読 B	2	2
	経済学入門（中国語）A	2	1
	経済学入門（中国語）B	2	1
	現代中国入門 A	2	1
	現代中国入門 B	2	1
上級専門 科目 A 群	経営戦略論 A	2	3・4
	経営戦略論 B	2	3・4
上級専門 科目 B 群	CSR 実務演習	2	3・4
	上級中国経済研究 A	2	3
	上級中国経済研究 B	2	3
	中国経済論 A	2	3
	中国経済論 B	2	3
	中国経済論 C	2	3
	中国経済論 D	2	3

- 6 第 7 条に規定する経営専攻専門科目【別表 1 - 2】のうち、以下の科目の配当年次を変更する。

授業科目名	変更前	変更後
中国専門書講読 C	4	3
中国専門書講読 D	4	3

- 7 第 7 条に規定するグローバル人材育成専攻専門科目【別表 1 - 4】に以下の科目を新設する。

科目区分	授業科目名	単位	配当年次
基礎専門 科目 A 群	観光ホスピタリティ論	2	2
上級専門 科目 A 群	観光ビジネス特論 A	2	3・4
	観光ビジネス特論 B	2	3・4
	経営戦略論 A	2	3・4
	経営戦略論 B	2	3・4

- 8 第 7 条に規定するグローバル人材育成専攻専門科目【別表 1 - 4】のうち、以下の科目の配当年次を変更する。

授業科目名	変更前	変更後
中国経済論 C	4	3
中国経済論 D	4	3

- 9 第 8 条に規定する共通科目【別表 2】に以下の科目を新設する。

科目区分	授業科目名	単位	配当年次
共通 科目 (教養)	スポーツコンディショニング 実習	2	2・3・4
	スポーツ科学概論	2	2・3・4
	スポーツとモラル	2	2・3・4
	救急処置法	2	3・4
	レクリエーション理論と実習	2	1・2・ 3・4
	レクリエーション理論と実習	2	2・3・4
	レクリエーション理論と実習	2	2・3・4
	トラベルジオグラフィー	2	2・3・4

別表1-1(第7条関係)経済専攻専門科目

科目区分		要件単位	授業科目名	必修区分	単位	配当年次	備考	
専攻専門科目	基礎科目	8単位	基礎ゼミナールA	必修	2	1		
			基礎ゼミナールB	必修	2	1		
			経済原論A	必修	2	1		
			経済原論B	必修	2	1		
	基礎専門科目	A群	30単位 (A群12単位以上)	基礎数学	履修必修	2	1	
				経済学基礎演習A	履修必修	2	2	
				経済学基礎演習B	履修必修	2	2	
				経済数学基礎		2	1	
				統計学A		2	1・2	
				統計学B		2	1・2	
				金融論A		2	2	
				金融論B		2	2	
				マクロ経済学A		2	2	
				マクロ経済学B		2	2	
				ミクロ経済学A		2	2	
				ミクロ経済学B		2	2	
		入門計量経済学A			2	2		
		入門計量経済学B			2	2		
		グローバル経済経営フィールド演習(初級)			2	1・2		
		ビジネスゲーム初級			2	1・2		
		国際開発協力フィールド演習			2	1・2・3・4		
		経済学史			2	2		
		経済統計学			2	2		
		世界経済論			2	2		
		中国経済研究A			2	2		
		中国経済研究B			2	2		
		中国専門書講読A			2	2		
		中国専門書講読B			2	2		
		日本経済史A			2	2		
		日本経済史B			2	2		
		簿記原理			4	1		
		コンピュータ科学A			2	2・3・4		
		コンピュータ科学B			2	2・3・4		
		データベース			2	2・3・4		
		ビジネスゲーム中級			2	2・3・4		
		国際開発協力概論A			2	1		
		国際開発協力概論B			2	1		
	不動産実務演習A		2	2				
	不動産実務演習B		2	2				
	経済学入門(中国語)A		2	1	中国MCコース対象科目			
	経済学入門(中国語)B		2	1				
	現代中国入門A		2	1				
	現代中国入門B		2	1				
	上級専門科目	A群	34単位 (A群14単位以上)	計量経済学A		2	3・4	
				計量経済学B		2	3・4	
				経済政策A		2	3・4	
				経済政策B		2	3・4	
公共政策学					2	3・4		
公共政策演習					2	3・4		
財政学A					2	3・4		
財政学B					2	3・4		
中級マクロ経済学A					2	3・4		
中級マクロ経済学B					2	3・4		
中級ミクロ経済学A					2	3・4		
中級ミクロ経済学B					2	3・4		
道経一体演習				2	3	道経一体コース対象科目		
道経一体演習				2	3			
道経一体演習				2	4			
道経一体演習				2	4			
ゼミナール		履修必修		2	3			
ゼミナール				2	3			
ゼミナール				2	4			
ゼミナール				2	4			
経済実務演習				2	2			
経済実務演習				2	2			
経済実務演習				2	3			
経済実務演習				2	3			
上級中国経済研究A				2	3			
上級中国経済研究B				2	3			
中国経済論A				2	3			
中国経済論B		2	3					
中国経済論C		2	3					
中国経済論D		2	3					
中国マクロ経済論		2	3					
E U経済社会論		2	3・4					
N P O / N G O論		2	3・4					

			インド経済論		2	3・4	
			環境経済学		2	3・4	
			基礎・学際演習		4	3・4	公務員コース対象科目
			基礎・学際演習		4	3・4	
			基礎・学際演習		4	3・4	
			基礎・学際演習		4	3・4	
			経済史		2	3・4	
			経済思想		2	3・4	
			経済倫理 A		2	3・4	
			経済倫理 B		2	3・4	
			国際開発論		2	3・4	
			国際金融論 A		2	3・4	
			国際金融論 B		2	3・4	
			国際経済学 A		2	3・4	
			国際経済学 B		2	3・4	
			国際地域開発政策論		2	3・4	
			コミュニティデザイン論		2	3・4	
			コミュニティデザイン演習		2	3・4	
			世界食料政策論		2	3・4	
			地域経済学		2	3・4	
			イスラム経済圏		2	3・4	
			東南アジア経済社会論 A		2	3・4	
			東南アジア経済社会論 B		2	3・4	
			都市経済学		2	3・4	
			日本経済論		2	3・4	
			北米経済論 A		2	3・4	
			北米経済論 B		2	3・4	
			労働経済学		2	3・4	
			公共経済学 A		2	3・4	
			公共経済学 B		2	3・4	
			中国専門書講読 C		2	3・4	
			中国専門書講読 D		2	3・4	

別表 1 - 2 (第 7 条関係) 経営専攻専門科目

科目区分	要件単位	授 業 科 目 名	必修 区分	単位	配当 年次	備 考	
専攻専門科目	基礎科目 8 単位	基礎ゼミナール A	必修	2	1		
		基礎ゼミナール B	必修	2	1		
		経営学概論 A	必修	2	1		
		経営学概論 B	必修	2	1		
	A 群	30 単位 (A 群 16 単位以上)	簿記原理	履修必修	4	1	
			経営学基礎演習 A	履修必修	2	2	
			経営学基礎演習 B	履修必修	2	2	
			会計学原理 A		2	2	
			会計学原理 B		2	2	
			経営情報 A		2	2	
			経営情報 B		2	2	
			経営組織論 A		2	2	
			経営組織論 B		2	2	
			マーケティング総論 A		2	2	
			マーケティング総論 B		2	2	
			ビジネスゲーム中級		2	2・3・4	
			基礎数学	履修必修	2	1	
			統計学 A		2	1・2	
			統計学 B		2	1・2	
			簿記実務演習 (初級)		2	1・2・3・4	
	B 群		金融論 A		2	2	
			金融論 B		2	2	
			原価計算論 A		2	2	
			原価計算論 B		2	2	
			ビジネスイノベーションプログラム A		2	2	
			ビジネスイノベーションプログラム B		2	2	
			経済原論 A		2	2	
			経済原論 B		2	2	
			国際コミュニケーション論 A		2	2	
			国際コミュニケーション論 B		2	2	
			F P 実務演習 (初級)		2	2・3・4	
			経営史 A		2	2・3・4	
			経営史 B		2	2・3・4	
			コンピュータ科学 A		2	2・3・4	
	コンピュータ科学 B		2	2・3・4			
	データベース		2	2・3・4			
プログラミング A		2	2・3・4				
プログラミング B		2	2・3・4				
日本経済史 A		2	2				
日本経済史 B		2	2				
データ解析		2	2				
中国経済研究 A		2	2				
中国経済研究 B		2	2				
中国専門書講読 A		2	2				

中国 M C コース対象科目

			中国専門書講読 B		2	2	
			経済学入門(中国語) A		2	1	
			経済学入門(中国語) B		2	1	
			現代中国入門 A		2	1	
			現代中国入門 B		2	1	
上級専門科目	A群	34単位 (A群16単位以上)	経営戦略論 A		2	3・4	中国MCコース対象科目
			経営戦略論 B		2	3・4	
			国際経営論		2	3・4	
			消費者行動論		2	3・4	
			人事管理 A		2	3・4	
			人事管理 B		2	3・4	
			中小企業論 A		2	3・4	
			中小企業論 B		2	3・4	
			道徳経営特論 A		2	3・4	
			道徳経営特論 B		2	3・4	
			ビジネスエシックス A		2	3・4	
			ビジネスエシックス B		2	3・4	
			ゼミナール	履修必修	2	3	
			ゼミナール		2	3	
			ゼミナール		2	4	
			ゼミナール		2	4	
			インターネット・ビジネス論		2	2・3・4	
	I T実務演習		2	3・4			
	N P O ・ N G O 論		2	3・4			
	管理会計論 A		2	3・4			
	管理会計論 B		2	3・4			
	企業金融論 A		2	3・4			
	企業金融論 B		2	3・4			
	基本情報実務演習		2	3・4			
	グローバルマーケティング		2	3・4			
	広告論		2	3・4			
	国際関係論 A		2	3・4			
	国際関係論 B		2	3・4			
	国際法 A		2	3・4			
	国際法 B		2	3・4			
	コーチング		2	3・4			
	コンピュータネットワーク A		2	3・4			
	コンピュータネットワーク B		2	3・4			
	財務会計論 A		2	3・4			
財務会計論 B		2	3・4				
サービスマーケティング		2	3・4				
情報倫理		2	3・4				
スポーツマネジメント実務演習 A		2	3・4				
スポーツマネジメント実務演習 B		2	3・4				
スポーツマネジメント実務演習 C		2	3・4				
スポーツ経営		2	3・4				
スポーツ産業論		2	3・4				
ビジネスイノベーション P T		2	3・4				
多国籍企業論		2	3・4				
ビジネスゲーム上級		2	3・4				
ビジネスリサーチ		2	3・4				
労働経済学		2	3・4				
経済史		2	3・4				
CSR 実務演習		2	3・4				
上級中国経済研究 A		2	3				
上級中国経済研究 B		2	3				
中国経済論 A		2	3				
中国経済論 B		2	3				
中国経済論 C		2	3				
中国経済論 D		2	3				
中国専門書講読 C		2	3・4				
中国専門書講読 D		2	3・4				
道経一体演習		2	3				
道経一体演習		2	3				
道経一体演習		2	4				
道経一体演習		2	4				
B群							道経一体コース対象科目

別表1-3(第7条関係)会計ファイナンス専攻科目

科目区分		要件単位	授 業 科 目 名	必修区分	単位	配当年次	備 考
専攻専門科目	基礎科目	8単位	基礎ゼミナールA	必修	2	1	
			基礎ゼミナールB	必修	2	1	
			会計ファイナンス概論A	必修	2	1	
			会計ファイナンス概論B	必修	2	1	
基礎専門科目	A群	30単位 (A群18単位以上)	基礎数学	履修必修	2	1	
			簿記原理	履修必修	4	1	
			会計ファイナンス基礎演習A	履修必修	2	2	
			会計ファイナンス基礎演習B	履修必修	2	2	
			会計学原理A	履修必修	2	2	

上級専門科目	B群	会計学原理 B	履修必修	2	2	
		金融論 A	履修必修	2	2	
		金融論 B	履修必修	2	2	
		原価計算論 A	履修必修	2	2	
		原価計算論 B	履修必修	2	2	
		ファイナンス基礎	履修必修	2	2・3・4	
		統計学 A		2	1・2	
		統計学 B		2	1・2	
		簿記実務演習(初級)		2	1・2・3・4	
		マーケティング総論 A		2	2	
		マーケティング総論 B		2	2	
		経営情報 A		2	2	
		経営情報 B		2	2	
		FP実務演習(初級)		2	2・3・4	
		コンピュータ科学 A		2	2・3・4	
		コンピュータ科学 B		2	2・3・4	
		データベース		2	2・3・4	
	ビジネスゲーム中級		2	2・3・4		
	簿記実務演習(中級) A		2	2・3・4		
	簿記実務演習(中級) B		2	2・3・4		
	簿記実務演習(中級) C		2	2・3・4		
	デリバティブ理論	履修必修	2	3・4		
	ポートフォリオ理論	履修必修	2	3・4		
	管理会計論 A	履修必修	2	3・4		
	管理会計論 B	履修必修	2	3・4		
	企業金融論 A	履修必修	2	3・4		
	企業金融論 B	履修必修	2	3・4		
	財務会計論 A	履修必修	2	3・4		
	財務会計論 B	履修必修	2	3・4		
	ゼミナール	履修必修	2	3		
	ゼミナール		2	3		
	ゼミナール		2	4		
	ゼミナール		2	4		
	F P実務演習(中級) A		2	3・4		
F P実務演習(中級) B		2	3・4			
I T実務演習		2	3・4			
会計監査論		2	3・4			
基本情報実務演習		2	3・4			
国際金融論 A		2	3・4			
国際金融論 B		2	3・4			
コンピュータネットワーク A		2	3・4			
コンピュータネットワーク B		2	3・4			
資本市場とグローバル証券事業		2	3・4			
証券市場論 A		2	3・4			
証券市場論 B		2	3・4			
税務会計論		2	3・4			
租税論 A		2	3・4			
租税論 B		2	3・4			
ビジネスゲーム上級		2	3・4			
簿記実務演習(上級) A		2	3・4			
簿記実務演習(上級) B		2	3・4			
リスク計量分析		2	3・4			
会計実務演習 A		4	1			
会計実務演習 B		4	1			
会計実務演習 C		4	2			
会計実務演習 D		4	2			
会計実務演習 E		4	2			
会計実務演習 F		4	2			
会計実務演習 G		4	3			
会計実務演習 H		4	3			
会計実務演習 I		4	3			
道経一体演習		2	3	道経一体コース対象科目		
道経一体演習		2	3			
道経一体演習		2	4			
道経一体演習		2	4			

34 単位
(A群 12 単位以上)

別表 1 - 4 (第 7 条関係) グローバル人材育成専攻科目

科目区分	要件単位	授 業 科 目 名	必修区分	単位	配当年次	備 考
専攻専門科目	14 単位	基礎ゼミナール A	必修	2	1	
		基礎ゼミナール B	必修	2	1	
		経済原論 A	必修	2	1	
		経済原論 B	必修	2	1	
		経営学概論 A	必修	2	1	
		経営学概論 B	必修	2	1	
		グローバル人材概論	必修	2	1	
		Principles of Economics A	必修	2	1	
		Principles of Economics B	必修	2	1	
		Principles of Management A	必修	2	1	

		Japanese Culture and Religion A	2	3	
		Japanese Culture and Religion B	2	3	
		Econometrics	2	3・4	
		Finance A	2	3・4	
		Finance B	2	3・4	
		Human Resource Management	2	3・4	
		Intermediate Macroeconomics	2	3・4	
		Intermediate Microeconomics	2	3・4	
		International Agricultural and Environmental Policy	2	3・4	
		International Business	2	3・4	
		International Economics	2	3・4	
		International Regional Development Policy	2	3・4	
		Japanese Economy and Policy	2	3・4	
		NPO/NGO論	2	3・4	
		Strategic Management A	2	3・4	
		Strategic Management B	2	3・4	
		グローバル化と日本	2	3・4	
		グローバルマーケティング	2	3・4	
		経営戦略論A	2	3・4	
		経営戦略論B	2	3・4	
		経済倫理A	2	3・4	
		経済倫理B	2	3・4	
		国際開発論	2	3・4	
		国際関係論A	2	3・4	
		国際関係論B	2	3・4	
		国際経営論	2	3・4	
		国際経済学A	2	3・4	
		国際経済学B	2	3・4	
		国際情勢論	2	3・4	
		人事管理A	2	3・4	
		人事管理B	2	3・4	
		多国籍企業論	2	3・4	
		中小企業論A	2	3・4	
		中小企業論B	2	3・4	
		道徳経営特論A	2	3・4	
		道徳経営特論B	2	3・4	
		ビジネスエシックスA	2	3・4	
		ビジネスエシックスB	2	3・4	
		観光ビジネス特論A	2	3・4	
		観光ビジネス特論B	2	3・4	
		ゼミナール	履修必修	2	3
		ゼミナール		2	3
		ゼミナール		2	4
		ゼミナール		2	4
		中国経済論A	2	3	
		中国経済論B	2	3	
		EU経済社会論	2	3・4	
		IT実務演習	2	3・4	
		インド経済論	2	3・4	
		インド社会論	2	3・4	
		基本情報実務演習	2	3・4	
		グローバル経済経営フィールド演習(上級)	2	3・4	
		経済史	2	3・4	
		経済政策A	2	3・4	
		経済政策B	2	3・4	
		計量経済学A	2	3・4	
		計量経済学B	2	3・4	
		公共経済学A	2	3・4	
		公共経済学B	2	3・4	
		広告論	2	3・4	
		国際金融論A	2	3・4	
		国際金融論B	2	3・4	
		国際地域開発政策論	2	3・4	
		コンピュータネットワークA	2	3・4	
		コンピュータネットワークB	2	3・4	
		財政学A	2	3・4	
		財政学B	2	3・4	
		サービスマーケティング	2	3・4	
		資本市場とグローバル証券事業	2	3・4	
		消費者行動論	2	3・4	
		情報倫理	2	3・4	
		世界食料政策論	2	3・4	
		中級マクロ経済学A	2	3・4	
		中級マクロ経済学B	2	3・4	
		中級ミクロ経済学A	2	3・4	
		中級ミクロ経済学B	2	3・4	
		イスラム経済圏	2	3・4	
		東南アジア経済社会論A	2	3・4	

B群

			東南アジア経済社会論 B		2	3・4	
			ビジネスゲーム上級		2	3・4	
			北米経済論 A		2	3・4	
			北米経済論 B		2	3・4	
			北米社会論 A		2	3・4	
			北米社会論 B		2	3・4	
			労働経済学		2	3・4	
			THESIS WRITING A		2	4	
			THESIS WRITING B		2	4	
			中国経済論 C		2	3	
			中国経済論 D		2	3	
			道経一体演習		2	3	道経一体コース対象科目
			道経一体演習		2	3	
			道経一体演習		2	4	
			道経一体演習		2	4	

別表 1 - 5 (第 7 条関係) スポーツビジネス専攻科目

科目区分		要件単位	授 業 科 目 名	必修区分	単位	配当年次	備 考	
専攻専門科目	基礎科目	10	基礎ゼミナール A	必修	2	1		
			基礎ゼミナール B	必修	2	1		
			スポーツビジネス概論	必修	2	1		
			経営学概論 A	必修	2	1		
			経営学概論 B	必修	2	1		
	基礎専門科目	A 群	36 単位 (A 群 22 単位以上)	マーケティング総論 A		2	2	
				マーケティング総論 B		2	2	
				経営組織論 A		2	2	
				経営組織論 B		2	2	
				簿記原理	履修必修	4	1	
				会計学原理 A		2	2	
				会計学原理 B		2	2	
				スポーツビジネス基礎演習 A	履修必修	2	2	
				スポーツビジネス基礎演習 B	履修必修	2	2	
				スポーツ PBL	履修必修	2	2	
				コーチング		2	2・3・4	
				B 群	基礎数学	履修必修	2	1
		統計学 A				2	1・2	
		統計学 B				2	1・2	
		経営情報 A				2	2	
		経営情報 B				2	2	
		ビジネスゲーム中級				2	2・3・4	
		経営史 A				2	2・3・4	
		経営史 B				2	2・3・4	
		コンピュータ科学 A				2	2・3・4	
		コンピュータ科学 B				2	2・3・4	
		データベース				2	2・3・4	
		簿記実務演習 (初級)				2	1・2・3・4	
		金融論 A				2	2	
		金融論 B				2	2	
		原価計算論 A				2	2	
		原価計算論 B			2	2		
	FP 実務演習 (初級)			2	2・3・4			
	プログラミング A			2	2・3・4			
	プログラミング B			2	2・3・4			
	データ解析			2	2			
日本経済史 A		2		2				
日本経済史 B		2		2				
経済原論 A		2		2				
経済原論 B		2		2				
国際コミュニケーション論 A		2		2				
国際コミュニケーション論 B		2	2					
上級専門科目	A 群	34 単位 (16 単位以上)	スポーツ経営		2	3・4		
			スポーツ産業論		2	3・4		
			スポーツマーケティング		2	3・4		
			スポーツビジネス実務演習 A		2	3・4		
			スポーツビジネス実務演習 B		2	3・4		
			スポーツビジネス実務演習 C		2	3・4		
			スポーツビジネスプレゼンテーション		2	3・4		
			消費者行動論		2	3・4		
			経営戦略論 A		2	3・4		
			経営戦略論 B		2	3・4		
			人事管理 A		2	3・4		
			人事管理 B		2	3・4		
			国際経営論		2	3・4		
			道徳経営特論 A		2	3・4		
道徳経営特論 B		2	3・4					
中小企業論 A		2	3・4					
中小企業論 B		2	3・4					

		ゼミナール		2	3・4	
		ゼミナール		2	3・4	
		ゼミナール		2	3・4	
		ゼミナール		2	3・4	
		情報倫理		2	3・4	
		コンピュータネットワークA		2	3・4	
		コンピュータネットワークB		2	3・4	
		インターネット・ビジネス論		2	2・3・4	
		IT実務演習		2	3・4	
		基本情報実務演習		2	3・4	
		広告論		2	3・4	
		国際法A		2	3・4	
		国際法B		2	3・4	
		国際関係論A		2	3・4	
		国際関係論B		2	3・4	
		ビジネスエシックスA		2	3・4	
		ビジネスエシックスB		2	3・4	
		ビジネスゲーム上級		2	3・4	
		多国籍企業論		2	3・4	
		グローバルマーケティング		2	3・4	
		サービスマーケティング		2	3・4	
		ビジネスリサーチ		2	3・4	
		経済史		2	3・4	
		NPO・NGO論		2	3・4	
		管理会計論A		2	3・4	
		管理会計論B		2	3・4	
		企業金融論A		2	3・4	
		企業金融論B		2	3・4	
		労働経済学		2	3・4	
		財務会計論A		2	3・4	
		財務会計論B		2	3・4	
		道経一体演習		2	3	
		道経一体演習		2	3	
		道経一体演習		2	4	
		道経一体演習		2	4	

B群

別表2（第8条関係）共通科目

科目区分	要件 単位	授 業 科 目 名	必修 区分	単位	配当 年次	備 考	
共通 科目	道徳科目	現代社会と道徳科学A	必修	2	1		
		現代社会と道徳科学B	必修	2	1		
		道徳科学A	必修	2	2		
		道徳科学B	必修	2	2		
	教養科目	22単位	英語コミュニケーションスキルA	履修必修	1	1	
			英語コミュニケーションスキルB	履修必修	1	1	
			英語コミュニケーションスキルC	履修必修	1	1	
			英語コミュニケーションスキルD	履修必修	1	1	
			英語コミュニケーションスキルE	履修必修	1	1	
			英語コミュニケーションスキルF	履修必修	1	1	
			基礎ゼミナールC	履修必修	2	1	
			情報リテラシー	履修必修	2	1	
			情報科学	履修必修	2	1	
			英語コミュニケーションスキルG	履修必修	1	2	
			英語コミュニケーションスキルH	履修必修	1	2	
			ライフスタイル論		2	2	
			スポーツ・健康と社会		2	1・2・3・4	
			スポーツの理論と実習		2	1・2・3・4	
			スポーツ実習S		1	1・2・3・4	
			レクリエーション技術演習		1	1・2・3・4	
			レクリエーション技術演習		1	2・3・4	
			スポーツコンディショニング実習		2	2・3・4	
			スポーツ科学概論		2	2・3・4	スポーツビジネス専攻のみ履修必修
			スポーツとモラル		2	2・3・4	
			救急処置法		2	3・4	
			レクリエーション理論と実習		2	1・2・3・4	
			レクリエーション理論と実習		2	2・3・4	
			海外語学研修（英語）		2	1・2・3・4	
			海外語学研修（英語）		2	1・2・3・4	
			海外語学研修（中国語）		2	1・2・3・4	
			海外語学研修（中国語）		2	1・2・3・4	
			環境科学A		2	1・2・3・4	
			環境科学B		2	1・2・3・4	
健康科学		2	1・2・3・4				
行政学		2	1・2・3・4				
行政法		2	1・2・3・4				
自主プロジェクト		1	1・2・3・4				
社会学A		2	1・2・3・4				
社会学B		2	1・2・3・4				

	世界史概論 B	選択	2	2・3	
	地誌	選択	2	2	
	地理学概論 A	選択	2	2・3	
	地理学概論 B	選択	2	2・3	
	哲学概論 A	選択	2	2	
	哲学概論 B	選択	2	2	
	日本史概論 A	選択	2	2	
	日本史概論 B	選択	2	2	
	法学概論 A	選択	2	2	
	法学概論 B	選択	2	2	

別表 5 - 1 (第18条関係) 語学検定等による専攻専門科目の単位認定

科目区分	学修の種類	認定 単位数	認定科目	備考
基礎専門科目	日商簿記検定 3 級	6	簿記原理 簿記実務演習 (初級)	
	日商簿記検定 2 級	10	簿記原理 簿記実務演習 (初級) 簿記実務演習 (中級) A 簿記実務演習 (中級) B 簿記実務演習 (中級) C	

別表 5 - 2 (第17条関係) 語学検定等による共通科目の単位認定

外国語区分	学修の種類	認定 単位数	認定科目	備考
英語	TOEFL (iBT) 62 点以上 TOEFL (CBT) 177 点以上 TOEFL (PBT) 503 点以上 TOEIC 600 点以上	4	英語コミュニケーションスキルA 英語コミュニケーションスキルB 英語コミュニケーションスキルC	英語を母語とする者は除く
	TOEFL (iBT) 72 点以上 TOEFL (CBT) 200 点以上 TOEFL (PBT) 533 点以上 TOEIC 680 点以上	6	英語コミュニケーションスキルD 英語コミュニケーションスキルE 英語コミュニケーションスキルF	
	TOEFL (iBT) 83 点以上 TOEFL (CBT) 220 点以上 TOEFL (PBT) 557 点以上 TOEIC 750 点以上	8	英語コミュニケーションスキルG 英語コミュニケーションスキルH	
国語	中国語検定準 4 級 TECC 250 点 以上 新 HSK 2 級	2	中国語	中国語を母語とする者は除く
	中国語検定 4 級 TECC 300 点 以上 新 HSK 3 級	4	中国語 中国語	
	TECC 400 点 以上 新 HSK 4 級 (180 点以上)	6	中国語 中国語 (残り 2 単位は取得した検定試験名で認定)	
	中国語検定 3 級以上 TECC 500 点 以上 新 HSK 4 級 (210 点以上)	8	中国語 中国語 (残り 4 単位は取得した検定試験名で認定)	

9. 成績評価方式 (GPA) について

(1) GPA とは

GPA (Grade Point Average、グレード・ポイント・アベレージ) は、各科目の成績から一定の方式によって算出された学生の成績平均点の評価方式のことをいいます。学校や国が異なっても共通の尺度として利用しやすいことから、欧米の大学や高校などで一般的に使われており、留学の際など学力を測る指標となります。日本においても、成績評価指標として導入する大学が増えてきており、採用の目安とする企業も増えてきています。本学では、成績評価指標として用いるとともに奨学金や授業料減免等の採否に利用しています。

(2) 実施概要

- 1) 対象科目：卒業要件となる科目のうち、6段階評価する科目
- 2) 対象外の科目：卒業要件に含まない教職科目、留学や語学検定での単位認定される科目、編入時に一括認定される科目
- 3) 履修取消：登録後の不本意履修を避けるため、「履修取消制度」を設け、「履修登録エラー確認・取消期間」であれば履修登録した科目を取消することが出来ます。ただし、履修登録科目の追加は認めません。教務グループ窓口で手続きをして下さい。
- 4) 履修放棄：履修登録した科目を履修取消期間後に放棄して成績が D・E 評価になる場合は、GPA が下がることになるので留意してください。
- 5) 再履修について：不合格科目は再履修できますが、合格した科目は再履修できません。
- 6) GPA の確認：学生用 WEB サービス (Campus Plan) で履修した各科目の成績評価 (S, A, B, 等のレターグレード) に加え、学期ごとの GPA 及び履修科目全体の GPA が確認できます。
- 7) 成績証明書の記載：成績証明書に GPA を記載しますが、利用目的に応じて表記の有・無を選択することができます。

(3) GPA の計算方法

素点 100 点を GP の最高点 4.0 点とし、素点 60 点の GP を 1.0 点として換算する。

$$GPA = \frac{(\text{各科目のGP} \times \text{単位数})\text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数合計}}$$

参考例 (表中で斜体の部分が成績表に記載されます)

科目名	単位数 (a)	素点	評価	GP (b)	(a) × (b)
学基礎	2	95	S	3.625	7.25
学概論	2	85	A	2.875	5.75
x × 学演習	2	55	D	0	0
論	2	70	B	1.750	3.5
科学	1	90	S	3.250	3.25
計	9	-	-	GPA 2.19	19.75

$$GPA = \frac{19.75}{9} = 2.19 \text{ (小数点2桁まで表示.3桁は四捨五入)}$$